

【大野城市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画】 介護サービスの質の確保・適正化のための数値目標

該当頁	該当章	評価指標	目標			実績		実績		課題と今後の方向性	担当課
			年度ごとの数値目標			実績	達成率	実績	達成率		
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和6年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度		
108	6-(1)-①-1) 介護予防・日常生活支援総合事業における評価指標及び目標	一般介護予防事業参加者数	7,000	7,200	7,400	6,703	96%	8,164	113.4%	一般介護予防事業の参加者は増加し続けており、介護予防に効果を上げていることから、参加者にとって魅力あるメニューの検討や講師の選定等を通じて、開催区や参加者の増加に向けた取り組みを進めていく。	すこやか長寿課
		まどかスクール(通所型サービスC・訪問型サービスC)参加者数	65	67	70	46	71%	58	86.6%	下肢筋力向上や口腔機能向上、栄養改善などの効果がみられているため、広報等にて周知の強化に努め、利用者増加の取り組みを進めていく。	すこやか長寿課
		介護予防ボランティア登録者数	195	200	205	169	87%	87	43.5%	登録しているが活動していない人がコロナ禍以降増えたため、登録者に今後の意向確認を行った結果、登録者自体は減少した。事業自体もどのようにしていくか、今後検討していくこととしたい。	すこやか長寿課
	6-(1)-①-2) ケアマネジメント調整会議開催事業における評価指標及び目標	ケアマネジメント調整会議における事例検討延べ件数	34	34	34	35	103%	36	106%	事例ごとに地域課題の抽出を行っている。また、これまで抽出された地域課題や給付費等の動向から意見交換も行っている。この内容を今後の事業に反映させるための検討を今後も継続して実施していく。	介護支援課
6-(1)-①-3) 生活支援体制整備事業における評価指標及び目標	地域の課題解決に取り組んだ件数	17	21	25	17	100%	18	85.7%	第1層協議体及び第2層協議体については、各地区とも定期的に開催されていることから、今後も地域課題の抽出や課題解決に向けた取組を進める。	すこやか長寿課	
109	6-(1)-①-4) 認知症総合支援事業における評価指標及び目標	認知症初期集中支援チームによる支援者数	40	42	44	33	83%	30	71.4%	認知症の早期発見・対応につなげるため、適切な医療機関に繋げ受診同行や、かかりつけ医への報告等、医療との連携を徹底し、それぞれに応じたきめ細かい支援を行っていく。	すこやか長寿課
	6-(1)-② 高齢者の自立支援・重度化防止に関する効果・成果指標及び目標	要介護・要支援認定率(第1号被保険者)	-	17.1%	-	-	-	17.6%	97.2%	※1 介護予防の各事業の参加者数の増加や予防効果も確認されているものの、目標値は未達成であった。今後も介護予防、重度化防止の取り組みの更なる強化とともに各取り組みを継続していく。	介護支援課
		主観的健康感が良好な高齢者の割合	-	80.0%	-	-	-	78.4%	98.0%	前回(R4 79.1%)を下回り、目標値も未達成であった。主観的健康感には様々な背景が影響していると思われるため、各取り組みの強化が必要である。	すこやか長寿課 介護支援課
		地域での活動(社会参加)の割合	-	60.0%	-	-	-	53.3%	88.8%	目標値より低く、未達成である。要因として、コロナウイルス感染症を機に市の事業や地域活動等が以前と変更となり、高齢者自身も行動習慣がかわってしまったことが考えられる。各事業の参加の働きかけを強化していく。	すこやか長寿課 介護支援課
		認知症リスク高齢者の割合	-	30.0%	-	-	-	31.3%	95.8%	※1 目標値より多く、未達成である。要因として、コロナウイルス感染症を機に市の事業や地域活動等が以前と変更となり、高齢者自身も行動習慣がかわってしまったことが考えられる。認知症高齢者は今後も増加するものと見込まれるため、各事業の取り組みを強化していく。	すこやか長寿課 介護支援課
		IADL(手段的日常生活動作)低下者の割合	-	9.0%	-	-	-	7.5%	120.0%	※1 低下者の割合は目標より少なく、目標達成となった。今後の高齢者の増加により、IADL低下者は増加するものと見込まれるため、介護予防・重度化防止の取り組みを強化していく。	すこやか長寿課 介護支援課
閉じこもりリスクのある高齢者の割合	-	11.0%	-	-	-	11.9%	92.4%	※1 目標値より多く、未達成である。要因として、コロナウイルス感染症を機に市の事業や地域活動等が以前と変更となり、高齢者自身も行動習慣がかわってしまったことが考えられる。各事業の参加の働きかけを強化していく。	すこやか長寿課 介護支援課		
110	6-(2)-① 要介護認定の適正化	訪問調査同行件数	10	10	10	10	100%	10	100.0%	訪問調査の平準化を図るため、今後も継続して事業を行っていく。	介護支援課
	6-(2)-② ケアプラン等(居宅サービス計画)の点検	ケアプランチェック等点検件数	120	120	120	120	100%	120	100.0%	令和6年度から国保連からの給付実績帳票を活用し、費用対効果が期待される帳票に重点化し実施している。今後も継続して実施していく。	介護支援課
		ケアマネジャーへの研修会実施回数	1	1	1	1	100%	1	100.0%	ケアプラン点検にて、質問の多い事項や課題の多い事項について、研修を実施予定。今後もケアマネジャーの質の向上に資する研修を継続していく。	介護支援課
111	6-(2)-③ 医療情報との突合・縦覧点検	縦覧点検回数	12	12	12	12	100%	12	100.0%	国保連合会に委託し、算定の誤りやサービスの整合性の確認のための点検を行った。今後も継続して実施し、必要に応じて事業所の指導を行う。	介護支援課
		医療情報との突合回数	12	12	12	12	100%	12	100.0%	国保連合会に委託し、医療との重複請求の防止のために点検を行った。今後も継続して実施し、必要に応じて事業所の指導を行う。	介護支援課

※1 目標値より実績値が低いと達成  
 ※2 目標値より実績値が高いと達成